

第 1 1 9 回城山地区まちづくり会議全体会結果

日 時：令和 7 年 9 月 25 日（木）
午後 7 時～午後 8 時 30 分
会 場：城山総合事務所本館 2 階 B 会議室
出席者：17 名（欠席 6 名）
傍聴者：2 名

1 開 会 内山所長

2 代表あいさつ 林代表

3 議 題

（１）令和 7 年度城山地区まちづくりを考える懇談会について

資料に基づき主に次のとおり、役員より説明をした。

ア 実施要領等について . . . 資料 1・2

- ・開催日 令和 7 年 1 0 月 3 0 日（木） 午後 6 時 3 0 分から
- ・会 場 城山公民館 1 階大会議室

イ テーマと内容について . . . 資料 3

これまでにまちづくり会議で出た意見を踏まえ、役員会において資料の
とおり集約したことについて説明し、承認された。

ウ 流れと役割分担（案）について . . . 資料 4～6

懇談会当日の流れと役割分担（選出）について役員より説明し、次のと
おり決定した。

- ・流れについて、資料 4-1、4-2 のとおり承諾を得た。
- ・役割分担について、資料 4-3 に基づき次のとおり選出した。

司会進行	菅野 副代表	} 10 分 程度
懇談の進行	林 代表	
テーマの概要・内容に係る説明	高野 副代表	
地域の取り組み状況に係る説明	取組① 小島 委員 取組② 宗田 委員 取組③ 菅野 副代表 取組④ 本野 委員	
閉会宣言	高野 副代表	

- ・資料 5（出席者名簿）、資料 6（座席表）について各自確認をした。
- なお、まちづくり会議の委員に加え、自治会から 5 名の自治会長に出席してもらうこととした。

《 主な意見等 》

○懇談会の結果について記録は残るのか。

→懇談会結果報告として、相模原市のホームページに掲載される。そのため、懇談会の結果を踏まえ地域の居場所づくりについて、地域の住民や団体が主体となることができるを考え、その上で、地域だけでは解決が難しいことについて、市に具体的な支援を求めるなど、居場所づくりの実現に向けた取り組みをしていくこととなる。

○まちづくり会議の委員以外の自治会長について、発言することができるのか。また、これまでのまちづくり会議に参加していないので、テーマに係る経過を踏まえて発言することが難しいのではないか。

→自治会長も発言することができる。また、テーマに係る経過などについては、10 月に実施する「城山地区自治会連合会会議」で林代表より各自治会長へ説明することとした。

○本日のタウンニュースに「市立児童クラブ」の育成料の値上げに係る記事が載っていたが、まちづくり会議で話が出ている「学童保育」と同じものなのか。

→呼び方は違うが、同じものとして認識している。

○また、育成料の値上げをするのであれば、受け入れ学年を現在の小学校 3 年生までから小学校 6 年生までに拡大するなどの体制改善を求める声もある様だ。そんな中、まちづくり会議内では、主に小学校 4 年生から中学生まで（学童保育対象外）の子どもの居場所が少ないとして話をしているが、受け入れ学年の拡大に応じ、柔軟に検討を進めて行くという考えでよろしいか。

→そのようなことも視野に入れながら協議を進めることになる。なお、受け入れ学年の拡大については、施設の収容能力や人件費の上昇などについても課題がある様だ。

○施設の収容能力や人件費の上昇などの課題に対し、地域の取り組み状況にもあるような、「自治会館を居場所として活用する方法」や「その居場所の運営をする人材に対し適切な対価を支払うなどの仕組み」が必要であると考ええる。

→今後も上記のような意見を踏まえ、まちづくり会議で協議を進めていきたい。

○地域の居場所づくりとして、子ども以外に高齢者も関わるかと思うが、高齢者に係る担当課の出席はないのか。

→限られた時間の中で、内容が多岐にわたると時間が足りなくなるのが想定されることから、役員会で協議した結果、今回については「子育て世帯」や「学童保育対象外の子ども」に焦点を当てた懇談会を実施したいと考えている。なお、懇談会ではなく、まちづくり会議へ担当課に来てもらい意見交換をすることも可能である。

（２）部会のテーマについて

- 高齢者部会は、しろやま☆おせっかいに参加した人のつながり“縁”を断ち切らないよう、おせっかいバンダナを委員等で配布し一旦事業を終了とする。
- 子ども部会の方針としては、予算を３年間確保しモルック大会などの事業を実施する予定である。今後、事業として地域に広げるためには目的などを明確にし、その上で内容に応じた事務局を設置するなど、事業を実施する組織がないと子ども部会のみで事業を続けることに限界を感じている。現在、事業として実施しているモルックは、子どもの主体性を育むための手段であり、モルック協会をつくりモルックを広めていくような計画ではない。しかし、モルック大会を楽しみにしている子どもや、実際に体験することで楽しむ家族や高齢者もいるので、このような事業があっても良いと考えている。以上のようなことを踏まえながら、今後の進め方について公民館などに相談をしている。
- 市では今年度からニュースポーツとして、ピックルボール、ボッチャの２種目を推奨している。それを踏まえ、公民館の体育部では来年度以降の事業計画について協議をしており、事務局と相談しながら事業を進めるところである。このような中、子ども部会と連携しモルック大会などの事業を推進できれば良いと思うが、人的なりソースの関係で複数の業務を同時に遂行するのが困難である。
- 城山体育振興協議会と連携する方法も選択肢として考えられる。
- 「子どもを育てよう」という考え方は、上から目線な姿勢や思いが含まれているように感じている。子どもを育てるためには、「どのように子どもを見て」、「どのように言葉をかけ」、「どのように関わり見守るか」など子どもを育てる前に、私たち大人が変わり共に育たないと、子どもを育てることはできないと思う。このような事業を通じ、周りの大人たちも学ぶ機会となっている。
- 次期総合計画・都市計画マスタープランについて議論しても良いと思う。
- まちづくり会議に携わっていない自治会長や地域の方々が、まちづくり会議で何をやっているのか知らないと思うし、存在自体が地域に周知されていないと感じている。まちづくり会議として、地域課題の解決に取り組み、成果を地域に周知できるような活動が必要であると思う。
- 新しく委員になった方は、今までの経過が把握できないので、会議で意見を述べるのが難しいと思う。また、会議で話している内容が地域のニーズを把握できているのかが定かではない。
- 地域の保健・福祉関係の団体などと意見交換するなど、地域のニーズを把握することが必要である。
- 部会の担当者の割り振りをする際、各委員の意見を聞いてほしい。
- まちづくり会議では、地域のニーズや地域の実態などを把握し、実際の活動は地域団体と連携して実施すれば良いと思う。
- まちづくり会議で何を議論すべきか、もう一度掘り下げ議題を具体化する必要があると感じている。

○地域の住民自身が主体的に参画し、地域課題の解決やまちづくりに取り組む仕組みを進めることで地域自治組織ができ、市と連携しながら具体的な計画を策定し、実行する仕組みができれば良いと思う。

《 結果 》

○上記の意見を踏まえ、11月のまちづくり会議において意見交換を実施することとした。

（３）その他

○令和８年度からの地域活性化事業交付金見直しについて周知した。

- ・ 交付回数を３年（３回）までから、最大５年（５回）までに延長できる。
- ・ 交付金の補助率は、３回目までは10/10以内、４回目は3/4以内、５回目は1/2以内とする。
- ・ マップ作成系事業は、情報更新の必要性から交付回数の制限はなし。ただし、継続して交付申請をする場合は、直近で交付金交付を受けた年度の翌年度から起算して原則３年を経過している必要がある。

○相模湖地区まちづくり会議では、今年度は懇談会を実施しないと聞いているが情報を把握しているか事務局へ伺いたい。

→今年度は開催時期の都合が合わなかったため、懇談会ではなく関係部署を呼んで勉強会を実施する予定であると聞いている。

○林代表より、区長との懇談会の実施について各委員へ意見を求めた。

《 主な意見 》

- ・ 区長に権限がどの程度あるのか定かではないが、区長の権限で判断できないような内容について懇談しても意味がないのではないのか。
- ・ まずは、緑区（橋本、大沢、城山、津久井、相模湖、藤野）のまちづくり会議の代表と区長で、緑区地域全体の課題や現状について話をしてもらい、その結果を踏まえ必要があれば各地区のまちづくり会議と区長との懇談会を計画した方が効率的かと思う。
- ・ 懇談内容を明確にしないと、雑談で終わってしまうのではないか。
- ・ できないことを考えすぎて、行動ができない状態では先に進まないと思う。
権限があるか否かに関わらず、区長と顔を合わせ、必要があれば何度でも意見交換をすることが大事だと思う。
- ・ 権限はなくても、地域の意見を区長へ聞いてもらうだけでも意味があると思う。
- ・ 以前、大学生が区長と話す機会を得た時に、複数の課を跨るような案件であったが、区長が横断的に複数の課を集めてくれたので話が早く進展したこともあるので、区長と話す機会はあると思っている。

- ・葉山島、小倉、中沢など、人口の減少が進み、将来的な人口の増加が見込めない状況における市街化調整区域について、今後のまちづくりを区長はどのように考えているのか伺ってみたい。
- ・昨年、区長と地域の防災に係る懇談を実施したが、その後の取り組みについて聞いてみたい。

《 結果 》

- ・11月、12月頃に区長との懇談を実施する方向で進めることとなった。

< 各構成団体からの連絡事項等 >

○平栗委員(城山商工会)

- ・10月18日(土)・19日(日)の2日間、神奈川県立相模湖公園で「さがみ湖野外バレエフェスティバル2025」が、仮設の野外ステージで開催されることになったので周知する。また、県へ仮設ではない野外ステージの設置について要望しているが、相模湖地域だけではなく市全体で取り組みを進めて行く予定であるため、ご承知おき頂きたい。

○本野委員(有識者)

- ・法政大学体育会サッカー部の観戦ツアーが10月12日(日)に開催することが決定したので周知する。なお、法政大学は2025関東大学サッカーリーグ2部で、1部昇格を目指しているので応援をお願いしたい。

○金子委員(有識者・子ども部会部会長)

- ・11月15日(土)に川尻小学校の校庭(雨天時・城山公民館)でモルック大会を実施する。これは、子どもに限らず大人も参加できるので参加をお願いしたい。なお、周知用のチラシの絵については、小学生が書いたものである。

全体会終了後に子ども部会においては検討を行い、検討終了後に解散となる旨説明があった。

4 閉 会 高野代表

【全体会終了後の子ども部会での検討内容】

●子どもたちの主体性を育む地域づくり部会

これまで部会で検討してきた「あつまれ～ しろやまっこ！」の取組について、11月15日開催予定のモルック大会に向けた内容確認を行った。

《 主な意見 》

- ・ 事前に購入する必要がある消耗品などがあるが、前日準備は特に必要ない。
当日の8時に集合して会場準備を行うこととする。
- ・ 参加者の駐車場は小学校の校庭とし、こどもセンターに近いところに駐車するよう、案内係に指示してもらった方がよい。
- ・ モルックの並べ方や点数の計算ルールの貼り紙などを掲示するために、看板を何枚か用意する必要がある。

以 上

第119回城山地区まちづくり会議出欠席者名簿

任期：令和6年4月27日～令和8年4月26日

番号	分野	団体名	役職等	委員氏名	出欠
1	地域関係	城山地区自治会連合会（会長）	代表	ハヤシ カズヒロ 林 和博	出席
2		城山地区自治会連合会（副会長）		ナカノ ヒロト 中野 秀人	出席
3		城山地区自治会連合会（副会長）		アンザイ カツマサ 安西 勝正	欠席
4		城山地区自治会連合会（川尻小学校区）		カンドウ ハジメ 神藤 元	出席
5		城山地区自治会連合会（湘南小学校区）		タカハシ アキラ 高橋 章	欠席
6		城山地区自治会連合会（広陵小学校区）		ワタナベ マサシゲ 渡辺 政茂	出席
7		城山地区自治会連合会（広田小学校区）		シバヤ タカシ 渋谷 隆	欠席
8	保健・福祉関係	城山地区社会福祉協議会	副部長	コジマ テリオ 小島 盛生	出席
9		城山地区民生委員児童委員協議会	副代表	スガノ ケイコ 菅野 敬子	出席
10		城山地区シニアクラブ連合会		アベ ユウゾウ 阿部 晃三	出席
11		相模原市赤十字奉仕団城山分団	部長	ソウダ マリコ 宗田 真理子	出席
12		城山地域包括支援センター		ハヤシタ カシ 林 多加史	出席
13	産業・経済関係	城山商工会		ヒラグリ フミオ 平栗 文夫	出席
14		城山観光協会		サクライ カオル 櫻井 かおる	出席
15	防犯・防災関係	安全・安心まちづくり推進協議会城山支部		スギモト ナオヒロ 杉本 直宏	出席
16		相模原市消防団北方面隊		タノクラ タカヒコ 田野倉 隆彦	欠席
17	教育関係	城山公民館運営協議会	副代表	タカノ アサエ 高野 朝枝	出席
18		城山体育振興協議会		ヒグチ タモツ 樋口 保	出席
19		城山地区小中学校長情報連絡会		サキヤマ ヒロト 寄山 浩人	欠席
20		特定非営利法人城山スポーツ&カルチャークラブめいぶる		カタクラ リエ 片倉 理恵	欠席
21		神奈川県立相模原城山高等学校		ヒグチ カズカ 樋口 一孝	出席
22	有識者		部長	カネコ ナオミ 金子 直美	出席
23				モトノ ナオコ 本野 直子	出席

①は高齢者とともに築き支える地域づくり部会

出席者数 17人

②は子どもたちの主体性を育む地域づくり部会

欠席者数 6人

第119回城山地区まちづくり会議 全体会次第

日 時 令和7年9月25日（木）
午後7時
会 場 城山総合事務所本館
2階B会議室

1 開 会

2 代表あいさつ

3 議 題

（1）令和7年度城山地区まちづくりを考える懇談会について

ア 実施要領等について . . . 資料1・2

開催日 令和7年10月30日（木） 午後6時30分から

会 場 城山公民館1階大会議室

イ テーマと内容について . . . 資料3

ウ 流れと役割分担（案）について . . . 資料4～6

（2）部会のテーマについて

（3）その他

4 閉 会

<次回の予定>

第120回全体会

11月27日（木）午後7時

城山総合事務所
本館2階B会議室

令和7年度 地区まちづくりを考える懇談会 実施要領

1 目的

まちづくり会議の委員と市が意見交換や情報共有をしながら、地域の特性や地域資源を生かしたまちづくりを協働して考える場を設け、住みよいまちづくりを推進する。

2 本年度の開催方針等

各地区まちづくり会議が市長と地区のまちづくりについて考える「対話」の場を希望した場合に実施する。

また、名称を『地区まちづくりを考える懇談会「地域の未来を語ろう with 市長」』として実施する。

3 開催単位

実施希望地区のみ年1回1会場までとする。

4 実施方法

各地区まちづくり会議と市の協働により実施する。

5 開催日等

実施日及び会場は、まちづくり会議と市との調整により決定する。

開始時間は一律午後6時からとする。

(まちづくり会議側からの希望がある場合は、昼間の実施も可能とする。)

6 進行等

懇談会の進行等はまちづくり会議の代表者等が行い、実施時間は概ね1時間30分とする。

7 出席者

(1) 地区の出席者は、まちづくり会議の委員とする。なお、まちづくり会議が特に必要とする場合には、委員以外の出席を認めることができるものとする。

(2) 市側の出席者は、市長、テーマ担当副市長、区長、テーマに関連する局長（市長公室長含む。）及び事務局長とする。ただし、区長は副区長が、局長は部長級が代わることができ、部長級が設置されていない局については、局長が指定する所属長が代わることができ、事務局長は次長又は指定する職員が代わることができるものとする。また、まちづくり会議事務局の職員、テーマに関連する部署の課長及び職員も出席できるものとする。

※市長の公務日程等に対応できない場合がある。

8 懇談の内容

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する（二つ以内）。

【テーマの考え方】

ア 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。

イ 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

9 傍聴

当日受付とし、地区以外の住民も傍聴可能する。ただし、会場の都合により、座席数には限りがあるため、希望者が多い場合には抽選により、傍聴者を決定する場合がある。

10 周知方法

市ホームページ及び地域情報紙にて周知を行う。

令和 7 年度 地区まちづくりを考える懇談会 「地域の未来を語ろう with 市長」全体の進行

(司会進行：まちづくり会議副代表等)

■開会

- 1 懇談会開会の宣言（まちづくり会議副代表等）
- 2 出席者の紹介
- 3 まちづくり会議代表あいさつ
- 4 市長あいさつ

■懇談開始

※懇談の視点：「地域でできること」、「市がやるべきこと」、「協働でできること」と
は何かという視点から「対話」による懇談を進める

- 5 テーマの概要及び地域での取組状況等の説明
(まちづくり会議から、パワーポイント、資料等を用いての説明も可)：5 分程度
- 6 テーマに関連する区や市の取組み等について説明
(区長・局長・部長)：5 分程度
- 7 テーマについて懇談：40 分程度

・一通り懇談が終わったら、進行役のまちづくり会議代表より、地区でできること、市がやるべきこと、協働の視点など、まとめを含めあいさつを行う。

(全体の感想、今後の地域の取組の方向など、懇談会のまとめを行う。)

■懇談終了

- 8 市長感想（全体の感想、地域への支援、今後の市の取組みの方向など）
- 9 懇談会閉会の宣言（まちづくり会議副代表等）

城山地区まちづくりを考える懇談会

「地域の未来を語ろう with 市長」テーマ

■地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する(二つ以内)。

□① 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。

■② 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

■テーマの概要・内容

テーマ	「地域の居場所づくり」について
概 要	地域の居場所として、高齢者を対象とした「ふれあい・いきいきサロン」、「高齢者学級」、子育て中の方を対象とした「ふれあい・子育てサロン」、「子育て支援事業」、子どもを対象とした「子ども食堂」、「無料学習支援・夏休みの学習ルーム設置」、「子ども祭り」などの各種目的や対象者を特定した事業が公民館などで行われている。 また、公民館や各自治会(単位自治会)においても、趣味や仲間づくりなど同じ目的を持った人たちによるサークル活動や集いなど、地域活動が行われている。 確かにこのような居場所について地域には必要であると考えているが、目的や対象者を特定するなど「縦割りの居場所」となっていると感じている。 このような中、城山地区まちづくり会議では目的や対象者を特定しない「横断的な居場所」の必要性を感じており、特に「<u>学童保育対象外の子どもが安全で安心して過ごせる場所</u>」や「<u>子育て世代と地域がつながる場所</u>」の居場所づくりが重要であると考え取り組みをはじめている。 例えば、「子どもを連れてふらっと遊びに来て、高齢者とお茶を飲みながらおしゃべりを楽しんだり、育児の悩みを相談したりする場所」や「子どもたちが遊ぶために集合して来て、地域の人たちとあいさつを交わす場所」など、『子どもから高齢者まで、誰もが特に目的もなく集まり時間を過ごせる場所』が地域にあり、自然に世代間の交流が図られる地域の居場所があれば良いと考えている。 そこで、子育て支援や世代間交流の推進の一助となるような「地域の居場所づくり」を実現するため、地域と行政が一体となりどのような取り組みができるかについて懇談を実施したい。 主な懇談内容 ○子育て世代と地域との交流の場や学童保育対象外(小学校 4 年生から中学生)の子どもが安心・安全に過ごせる場所について ○地域住民が主体となって事業を継続的に運営できる仕組み≪予算確保、組織構築、人材に係る適切な対価(報酬や謝礼)など≫づくりについて
担当部署	こども・若者政策課、放課後児童対策課、こども施設課、こども・若者応援課、こども家庭課、市民協働推進課

■上記テーマに関する地区の取組状況等

取組状況	○城山地区まちづくり会議の主な取り組み ◇高齢者とともに築き支える地域づくり部会 ・おせっかい風土をひろめよう ◇子どもたちの主体性を育む地域づくり部会 ・モルック体験会及び大会の実施 ○公民館、民児協、自治会など主な取り組み ◇公民館の活用 ・公民館の中庭などを開放し来館者が交流できるスペースを拡大した。 ◇民児協が主体となり公民館でサロンを実施 ・子育てサロンマシュマロクラブ ◇地域の交流の場 ・ＹＹ（わいわい）わかば ・久保沢ふれあいカフェ ・若葉ほっこりーな ・原宿なごまーる
-------------	---

■地域トピックス（既存の関連資料等がある場合にはご恵与ください。）

地区の課題（テーマ以外にある場合）、アピールしたい点、工夫している点、良いところ、現在取り組んでいる活動など、市長があいさつで触れるべきこと、または触れてもらいたいこと。 ○城山夏まつりや城山もみじまつりなどの様々なイベントがコロナ渦以前の規模で盛大に開催され、地域に賑わいが戻ってきている。 ・津久井湖さくらまつり（水の苑地）…（ 3月30日） ・みんなの津久井湖夏祭り……………（ 8月11日） ・小倉橋灯ろう流し……………（ 8月16日） ・城山夏まつり……………（ 8月23日～24日） ・城山もみじまつり……………（10月12日予定） ・城山地区市民文化祭……………（11月 2日～3日予定） ・城フェス……………（11月 2日予定）など ○城山 e-bike 体験モニターツアー（10月25日実施予定）など、自転車を活かしたイベントも開催され、本市が進めているサイクルツーリズムを通じた観光振興や地域活性化を推進している。
--

令和7年度 城山地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろう with 市長」次第

と き 令和7年10月30日(木)
午後6時30分から
ところ 城山公民館大会議室
司 会 菅野副代表

1 開 会

2 出席者紹介

3 城山地区まちづくり会議代表あいさつ

4 市長あいさつ

5 懇 談【懇談進行／林代表】

テーマ『地域の居場所づくり』について

－ 懇談の主な流れ(目安) －

- ①地域から市へ説明《テーマに係る内容や取り組みについて》
- ②市から地域へ説明《地域からの説明を受け、市から意見や説明》
- ③双方の説明を踏まえ意見交換《テーマに基づく自由な意見交換》
- ④代表より全体の感想
- ⑤市長より全体の感想

－ 懇談終了 －

6 閉 会

城山地区まちづくりを考える懇談会 「地域の未来を語ろう with 市長」司会進行台本

(調整中)

日時 令和7年10月30日(木)

午後6時30分から

場所 城山公民館1階 大会議室

I 開会

18:30

【時間配分：5分間】

司会／菅野副代表

皆さん、こんばんは。

夜分、お疲れのところ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます

「城山地区まちづくり会議副代表の菅野」でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、ただ今から 城山地区 まちづくりを考える懇談会

「地域の未来を語ろう with 市長」を開会いたします。

2 出席者紹介

司会／菅野副代表

はじめに、本日出席しています、城山地区まちづくり会議の委員と

自治会長については、お手もとの席次のとおりとなります。

時間の都合上、自己紹介は省略させていただきますので、

よろしくお願いいたします。

次に、ご出席をいただいております
市の皆さま方のご紹介をさせていただきます。

「^{もとむら}本村 市長」 です。
「 副市長」 です。
「^{しいはし}椎橋 緑区長」 です。
「 局長」 です。
「^{さと}佐藤 緑区副区長」 です。
「 市民局長」 です。

その他に、城山まちづくりセンター、〇〇課、〇〇課、市民協働推進課からも
職員の出席をいただいております。

《職員が起立しますので、ここで少し待つ》

以上が市の出席者の皆さま方です。よろしくお願いいたします。

3 城山地区まちづくり会議代表あいさつ

18 : 35

【時間配分：5分間】

司会／菅野副代表

それでは、出席委員を代表いたしまして、

「 城山地区まちづくり会議の 林 代表 」より、
ごあいさつを申し上げます。

— 林 代表あいさつ —

ありがとうございました。

4 市長あいさつ

18 : 40

【時間配分：5分間】

司会／菅野副代表

続きまして、「本村 市長」からごあいさつをいただきたいと存じます。

— 本村市長 あいさつ —

ありがとうございました。

18 : 45

【時間配分：1分間】

司会／菅野副代表

それでは、懇談に入らせていただきたいと思います。

以後の進行につきましては、

「城山地区まちづくり会議の 林 代表」にお願いしたいと思います。

「林 代表」、よろしくお願いいたします。

5 懇 談【懇談進行／林代表】

18 : 46

【時間配分：3分間】

林 代表（懇談進行）

それでは、私の方で懇談の進行をさせていただきます。

本日の懇談会を有意義なものにするため、皆さま方のご協力をいただきたいと思います。
考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の懇談の進め方についてご説明申し上げます。

はじめに、まちづくり会議からテーマについて、概要や地区の取組状況を含めて、10分程度でご説明をお願いします。

次に、市の方より地域からの説明について、意見や助言、地域に求めることなど10分程度でご説明をしていただきます。

そのあと、双方の説明を踏まえながらテーマについて、双方で意見交換をしてまいりたいと考えております。

懇談会の終了は、20時00分頃を目途としたいと考えております。

【傍聴者がいる場合】

また、傍聴者の皆様にお知らせいたします。

まちづくり会議の委員など、あらかじめ決められた出席者以外のご発言はできませんので、ご静聴くださるようよろしくお願いいたします。

18 : 49

【時間配分：1分間】

林 代表（懇談進行）

それでは、テーマ「地域の居場所づくり」に基づいた懇談を行いたいと思います。

今回の懇談会では一方的に行政に対して要望を伝え、その回答を得ることが目的ではなく、今後の取り組みにあたり、居場所づくりの実現に向けた具体的な提案や具体的な行動計画を作成するために市からの意見やビジョン（先行事例）などを示してもらいながら、地域と行政が一体となりどのような取り組みができるかについて、より建設的な対話を行いたいと思いますのでよろしくお願いします。

18 : 50

【時間配分：10分間】

林 代表（懇談進行）

ー 地域から各委員が「概要及び取り組み状況」について説明する。ー

はじめに、テーマに係る概要について

〇〇 委員 お願いします。

ー 概要：テーマ『地域の居場所づくり』について説明する。ー

次に、地域の取り組み状況として4項目ありますので、順次説明をお願いします。

『①自治会館や地域の空き店舗などを活用する。』について

〇〇 委員 お願いします。

ー 地域の取り組みについて説明する。（以下②～④同様）ー

続きまして、

『②地域内の各居場所について情報を共有する。』について

〇〇 委員 お願いします。

続きまして、

『③公民館と民児協で連携し、居場所づくりのきっかけをつくる。』について

〇〇 委員 お願いします。

最後に、

『④居場所の運営に係る担い手の育成及び確保をする。』について

〇〇 委員 お願いします。

19 : 00

【時間配分：10分間】

林 代表（懇談進行）

委員の皆様、ありがとうございました。

只今、地域の取り組み状況について説明がありました。

それらを踏まえ、市の意見やビジョン（先行事例など）、又は地域に要望することなどがあれば、お願いいたします。

— 区や市からの発言 —

19 : 10

【時間配分：30分間】

林 代表（懇談進行）

市の皆様、ありがとうございました。

これより、双方の説明を踏まえ、テーマについて意見交換を行いたいと思います。

委員さんでご意見等ある方は、挙手をお願いします。

なお、発言の前には、団体名とお名前をおっしゃっていただきます。

※発言者には挙手をしていただき、林 会長が指名してください。

※その後は適宜ほかの委員や市長など市の職員に発言を促してください。

※時間になったら終了。

たくさんのご意見、ありがとうございました。

19 : 40

【時間配分：10分間】

林 代表（懇談進行）

お話は尽きないようですが、時間の関係がございますので、
このあたりで懇談を終了させていただきます。

— 林 代表 —

（全体の感想、今後の地域の取組の方向など、懇談会のまとめを行う。）

皆さまのご協力に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。
進行を司会者の菅野副代表にお戻しいたします。

※ 進行を司会者に戻す ※

19 : 50

【時間配分：10分間】

司会／菅野副代表

閉会にあたりまして

「 本村 市長」より、本日の懇談会のご感想をいただきたいと存じます。

— 本村市長 —

（全体の感想、今後の市の取組の方向など）

ありがとうございました。

司会／菅野副代表

それでは、閉会を高野副代表にお願いいたします。

6 閉 会

20 : 00

閉会／高野副代表

本日は、長時間にわたり、懇談いただき、ありがとうございました。

それでは、これをもちまして 城山地区 まちづくりを考える懇談会

「地域の未来を語ろう with 市長」を終了いたします。

以 上

1. まちづくり会議の代表者からの発言

城山地区まちづくりを考える懇談会について

《説明者： 林 代表》

まちづくり会議では、懇談会のテーマ「地域の居場所づくり」に基づき、「地域でできること」、「地域と市が協働でできること」など、地域の住民や団体が主体となってできることを考え、その上で、地域だけでは解決が難しいことについて、市に具体的な支援を求めるなど、居場所づくりの実現に向けた取り組みをはじめていることを行政へ伝える。

なお、今回の懇談会では一方的に行政に対して要望を伝え、その回答を得ることが目的ではなく、今後の取り組みにあたり、居場所づくりの実現に向けた具体的な提案や具体的な行動計画を作成するために行政からの意見やビジョン（先行事例）などを示してもらいながら、地域と行政が一体となりどのような取り組みができるかについて、より建設的な対話ができるようにする。

2. 城山地区まちづくり会議の委員からの発言

（1）地域から市へテーマに係る概要を説明する。

【時間配分目安：3分】

概要：テーマ『地域の居場所づくり』について

《説明者： 》

地域の居場所として、高齢者を対象とした「サロン」、「高齢者学級」、子育て中の方を対象とした「子育てサロン」、「子育て支援事業」、子どもを対象とした「子ども食堂」、「学習ルーム設置」、「子ども祭り」などの各種目的や対象者を特定した事業が公民館など行われている。

また、公民館や各自治会（単位自治会）においても、趣味や仲間づくりなど同じ目的を持った人たちによるサークル活動や集いなど、地域活動が行われている。確かにこのような居場所について地域には必要であると考えているが、目的や対象者を特定するなど「縦割りの居場所」となっていると感じている。

このような中、城山地区まちづくり会議では目的や対象者を特定しない「横断的な居場所」の必要性を感じており、特に「学童保育対象外の子どもが安全で安心して過ごせる場所」や「子育て世代と地域がつながる場所」の居場所づくりが重要であると考え取り組みをはじめている。

例えば、「子どもを連れてふらっと遊びに来て、高齢者とお茶を飲みながらおしゃべりを楽しんだり、育児の悩みを相談したりする場所」や「子どもたちが遊ぶために集合して来て、地域の人たちとあいさつを交わす場所」など、『子どもから高齢者まで、誰もが特に目的もなく集まり時間を過ごせる場所』が地域にあり、自然に世代間の交流が図られる地域の居場所があれば良いと考えている。そこで、「地域の居場所づくり」を実現するため、主な内容として次の2項目、

1. 子育て世代と地域との交流の場や学童保育対象外（小学校4年生から中学生）の子どもが安心・安全に過ごせる場所について
2. 地域住民が主体となって事業を継続的に運営できる仕組み 《予算確保、組織構築、人材に係る適切な対価（報酬や謝礼）など》 づくりについて

について、地域と行政が一体となりどのような取り組みができるかを考えながら懇談を実施したい。

(2) 市へ地域の取り組み状況を説明する。(4項目)

の内は、これまでの会議結果を踏まえ、役員会で協議した説明文(案)

【時間配分目安：1分半～2分×4項目÷7分】

①自治会館や地域の空き店舗などを活用する。

《説明者：

》

地域では現在、学童対象外の小学生4年生以上から中学生の子どもが、安全で安心して過ごせる場所が少ないと感じており、地域課題として捉えている。例えば共働きの家庭では、小学校4年生の児童が朝8時から夜7時まで1人で過ごすような状況もあると聞いている。また、最近では、猛暑のため日中外で遊べないなど、子どもたちの遊び場がない。

このような中「児童クラブの容量を増やす」、「新たに安全な遊び場をつくる」又は「地域で子どもたちを集め居場所をつくる」などが実現できれば、子育て世帯の親は助かると考えている。

他にも、子育て世代の居場所が無く、地域でサポートができていないと感じている。

現状を見ると、世代間で分断されており、世代間交流が図られていないイメージがあるため、地域として、多世代がつながる様な居場所があれば良いと考えている。

しかし、居場所をつくっても場所によっては移動手段が不十分な状況である。例えば、公民館で事業を実施した場合、小倉や葉山島など車などの移動手段がないと参加しにくい状況である。

このようなことを踏まえると、身近な自治会館や地域の空き店舗などが活用できれば良いと考え、自治連や商工会などと協議しながら検討を進めている。

②地域内の各居場所について情報を共有する。

《説明者：

》

単位自治会において、地域住民の居場所として各種事業や活動を実施しているが、地域間で情報の共有ができていないため、どこで何を実施しているのか、城山地域内で情報の共有ができていないのが現状である。そこで、城山地域全体を俯瞰しながら、まちづくり会議の構成団体間で情報を収集するとともに、まちづくり会議を活用し、地域の住民や団体が実施している事業について情報の共有ができるような仕組みづくりについて検討している。

③公民館と民児協で連携し、居場所づくりのきっかけをつくる。

《説明者：

》

現在、子育てサロン、高齢者サロン、認知症サロン、地域食堂等々個別の居場所づくりが実施されている。これらのような目的を持った限定的な事業を充実すると同時に、多世代・多様な人たちがいつでも集まれるような居場所が必要であると考えており、公民館事業と各種サロンとの連携や公民館まつりとの協力など、居場所づくりのきっかけとなるような取り組みを検討している。

④居場所の運営に係る担い手の育成及び確保をする。

《説明者：

》

居場所の運営に係る担い手の確保、スタッフの研修、専門的な知識を持った人の配置、損害賠償への対策など、地域と行政が協働して取り組みができるような仕組みがあれば良いと考えている。

なお、関係人口として、地域では近隣の大学学生などの若い力の活用について検討している。

また、今後、地域の居場所としての運営を継続するための担い手の育成及び確保をするためには、運営する側の人材に対し無償ボランティアではなく、適切な対価(報酬や謝礼)を支払い、責任をもって運営してもらうような仕組みが必要であると考えている。

令和7年度 城山地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろうwith市長」出席者名簿

資料 5

番号	区分	分野	団体名	役職等	出席者氏名	
1	まちづくり会議	地域関係	城山地区自治会連合会（会長）	代表	林 和博	
2			城山地区自治会連合会（副会長）		中野 秀人	
3			城山地区自治会連合会（副会長）		安西 勝正	
4			城山地区自治会連合会（川尻小学校区）		神藤 元	
5			城山地区自治会連合会（湘南小学校区）		高橋 章	
6			城山地区自治会連合会（広陵小学校区）		渡辺 政茂	
7			城山地区自治会連合会（広田小学校区）		渋谷 隆	
8		保健福祉関係	城山地区社会福祉協議会		小島 盛生	
9			城山地区民生委員児童委員協議会	副代表	菅野 敬子	
10			城山地区シニアクラブ連合会		阿部 晃三	
11			相模原市赤十字奉仕団城山分団		宗田 真理子	
12			城山地域包括支援センター		林 多加史	
13		産業経済関係	城山商工会		平栗 文夫	
14			城山観光協会		櫻井 かおる	
15		防犯・防災関係	安全・安心まちづくり推進協議会城山支部		杉本 直宏	
16			相模原市消防団北方面隊		田野倉 隆彦	
17		教育関係	城山公民館運営協議会	副代表	高野 朝枝	
18			城山体育振興協議会		樋口 保	
19			城山地区小中学校長情報連絡会		寄山 浩人	
20			特定非営利法人 城山スポーツ＆カルチャクラブめいぷる		片倉 理恵	
21			神奈川県立相模原城山高等学校		樋口 一孝	
22		有識者				金子 直美
23						本野 直子
24	自治会	向原自治会(会長)			井上 敏幸	
25		町屋自治会(会長)			佐藤 信一	
26		小松自治会(会長)			大用 秀行	
27		中沢自治会(会長)			安西 忠義	
28		葉山島自治会(会長)			中里 右幸	

令和7年度城山地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろうwith市長」座席表（予定）

資料6

